

記者発表（発表・資料配付）				
月／日 （曜日）	事務所等名	電話	発表者（担当者）	配布先
11／1 （火） 10:00	県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター	0790- 62-2118	所長 谷口 俊明 （課長 永井 智）	県政記者クラブ 西播磨県民局

**兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター  
『令和4年度 試験研究成果・事例発表会』の開催**

当センターにおける日頃の試験研究・調査への取り組みとその成果について、森林・林業・木材産業関係者や県市町担当者等に広く知っていただくことを目的として、下記のとおり、試験研究成果・事例発表会を開催します。

今回は、「長期スパンでの研究・調査から見えてきた成果や知見」をサブタイトルとして、樹木の倒れにくさ、樹木のシカ害防除、林業用種子の虫害防除、スギの材質変異に関する4名の試験研究成果・調査事例について発表します。

記

- 1 **主 催** 兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター
- 2 **日 時** 令和4年12月7日(水) 13:00～16:00
- 3 **開催形式** ハイブリッド（対面 + Microsoft Teams によるオンライン）
- 4 **対面会場** 兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター  
（〒671-2515 宍粟市山崎町五十波 430）
- 5 **発表内容**
  - ・ 樹木根系の形状と樹木の倒れにくさについて
  - ・ コナラ、ミズナラ林に設置したシカ排除柵の樹木更新への効果
  - ・ スギ採種園におけるカメムシ類による種子加害とその防除
  - ・ スギの心材形成過程とそれを制御する要因～材質の変異を知り利用に生かすために～
- 6 **参加費** 無 料
- 7 **申込方法** 参加ご希望の方は別添チラシ裏面をご確認の上お申し込み下さい。参加形式により申込方法が異なるためご注意ください。
- 8 **定 員** 会場36名（申込先着順）、オンラインは人数制限なし
- 9 **そ の 他** 新型コロナウイルス感染拡大状況等により、開催形式を変更、または開催中止とする場合があります。
- 10 **問い合わせ先**  
兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター  
〒671-2515 宍粟市山崎町五十波 430 電話：(0790)62-2118 ファックス：(0790)62-9390

兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター  
令和4年度 試験研究成果・事例発表会

# 長期スパンでの 研究・調査から見えてきた 成果や知見

参加  
無料

日 時 令和4年 **12月7日(水)** 13:00~16:00

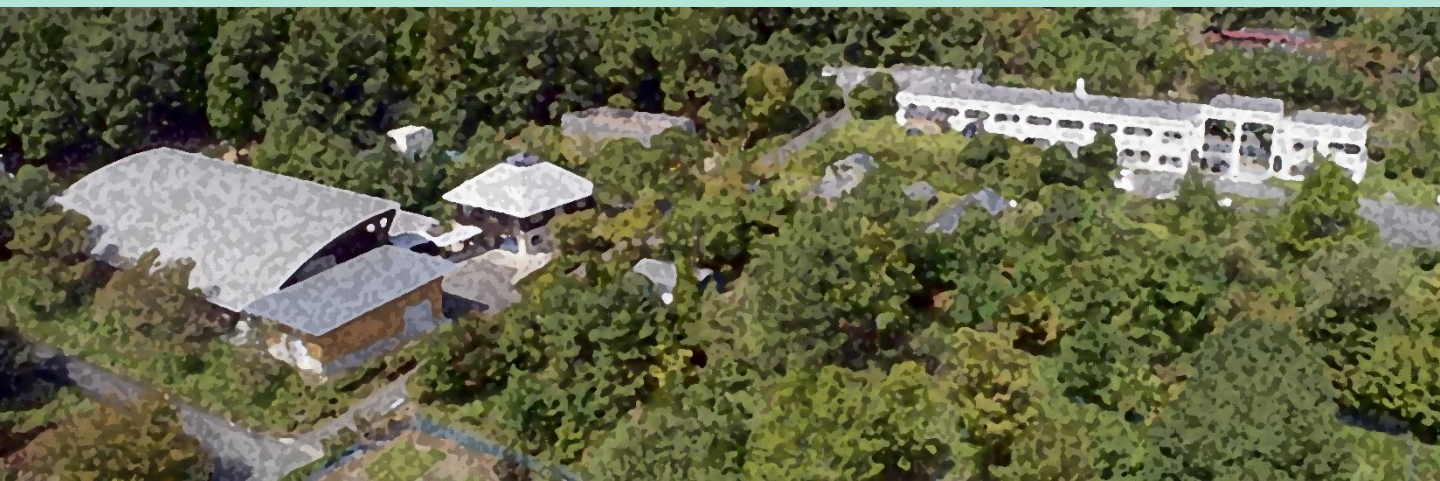
開催形式 ハイブリッド（対面 + Microsoft Teamsによるオンライン）

対面会場 森林林業技術センター 講堂（宍粟市山崎町五十波430）

定 員 会場36名（申込先着順）、オンラインは人数制限なし

## 発表内容

- 樹木根系の形状と樹木の倒れにくさについて 上席研究員 藤堂 千景
- コナラ、ミズナラ林に設置したシカ排除柵の樹木更新への効果 林業専門技術員 尾崎 真也
- スギ採種園におけるカメムシ類による種子加害とその防除 職員 中川 湧太
- スギの心材形成過程とそれを制御する要因～材質の変異を知り利用に生かすために～  
課長(木材活用担当) 永井 智



申込方法が参加形式により異なるためご注意ください

申込〆切 11月30日（水）

## 会場参加お申込み（定員36名）

**FAX 0790-62-9390**

下記内容にご記入のうえ、FAXにてお送りください。

ご所属	お名前（ふりがな）	ご連絡先
		TEL: E-mail:
		TEL: E-mail:

## オンライン参加お申込み

下記URLまたは右のQRコードよりフォームにアクセスしてお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSePFMuSezZtuGji6nJTW3KiV5NamOWncfDQtBEqM5z8LUkXKA/viewform>



## 発表要旨

### ■ 樹木根系の形状と樹木の倒れにくさについて 上席研究員 藤堂 千景

樹木の倒れにくさには、樹木地上部だけでなく、地下部である根系が関係していることが知られています。しかし、根系の形状と倒れにくさの関係については、まだよくわかっていません。

今回の発表では、根系の横への広がり(水平根の広がり)と深さ方向の広がり(垂直根の深さ)が倒れにくさとどう関係しているのか、樹種の違いによる根系の形状の違いがどのように倒れにくさに関係しているのかについて報告します。

### ■ コナラ、ミズナラ林に設置したシカ排除柵の樹木更新への効果 林業専門技術員 尾崎 真也

兵庫県では、シカの採食により天然林の下層植生の衰退が進行し、林床が裸地化して土壌浸食が激化し森林の公益的機能が損なわれている林分も多くみられます。

この対策として各地でシカ排除柵を設置し、柵内の植生回復を行うとともに樹木の更新について調査が行われていますが、長期間継続して検証した事例はほとんどみあたりません。

今回、シカが高密度に生息するコナラ、ミズナラ林において、2003年にシカ排除柵を設置して2021年まで18年間の植生の変化を調査するとともに、柵の設置が樹木の更新に及ぼす効果について検討しました。その結果について報告します。

### ■ スギ採種園におけるカメムシ類による種子加害とその防除 職員 中川 湧太

兵庫県のスギ採種園では、ここ数年、種子発芽率の低下が問題となっており、この原因の一つとして、カメムシ類による種子加害の深刻化が考えられます。これを受けて、昨年度から、スギ採種園におけるカメムシ類の発生消長調査や防除時期の検討を進めています。

今回は、スギ採種園におけるカメムシ類の種子加害状況を約30年前と現在とで比較するとともに、加害状況を踏まえた対応について報告します。

### ■ スギの心材形成過程とそれを制御する要因～材質の変異を知り利用に生かすために～

課長(木材活用担当) 永井 智

高含水率心材や黒心材といった木材利用上の課題を抱えるスギ材について、1) 丸太内辺材・移行材・心材における気体透過性の変異、2) 樹幹内辺材・移行材・心材における水分・空隙分布、3) 樹幹全体における辺材・移行材・心材分布と年輪(成長層)分布、を相互に関連づけ、なぜ、どのようにして辺材は低含水率移行材化し、着色心材化するのか、高含水率心材・黒心材は発生するのか、その予防方法はあるのか、について考察します。

## — お問い合わせ先 —

**TEL 0790-62-2118** FAX 0790-62-9390

兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター（永井、藤堂）